



鳥取砂丘コナン空港 フォトコンテスト2023 結果発表

鳥取空港フォトコンテスト2023へ50点を超える応募をいただき、誠にありがとうございました。
厳正なる審査の結果、受賞作品が決定しましたので発表いたします。

募集テーマ

- 鳥取空港や飛行機、空の旅を表現する写真
(飛行機が写ってなくても可)

募集期間

- 2023年7月1日～7月31日

表彰

- 最優秀賞(1名) オオエバレーステイ ペア宿泊券
- 優秀賞 (3名) 全国百貨店共通商品券
- 空港ビル賞(1名) 空港テナントお菓子詰め合わせ
- 鳥取空港空の駅オヤジの会賞(1名)
空港・飛行機グッズ

別途選から漏れた作品を対象にギャラリー投票によるギャラリー賞を選出予定(1名)

最優秀賞

豪華客船との共演

清水 太郎さん (兵庫県)

撮影日 2023年5月1日

撮影場所 久松山

撮影者コメント

にっぽん丸の寄港を知らずに朝から登山。山頂で海上のにっぽん丸に気付き、ヒコーキとのコラボを狙いました。

選評

T.Fujiba(藤林 敏啓)

この日1日だけ寄港したにっぽん丸とヒコーキのコラボ。RWY28に降りてこなければ撮ることのできないシチュエーション。知らずに遭遇したとのことですが、「持っていた」と言わざるを得ないでしょう。そんな状況でも、舞い上がってしまうことなく落ち着いて構図を整え、にっぽん丸とNH293便を良い配置で捉えました。鳥取空港と賀露港で空と海のツインポートとして打ち出している鳥取県の狙いともマッチした作品になっているところも大きなポイントとなります。



鳥取空港夜景・冬

澤田 昌宏さん(鳥取市)

撮影日 2022年12月19日 撮影場所 RWY28エンド

撮影者コメント

RWYに薄っすら積もった雪が機体に反射し、暗闇の中に白く浮き上がりました。また、タイミングよく光ったアンチコリジョンライトが効果をアップしてくれました。

選評

T.Fujiba(藤林 敏啓)

まず、暗部の綺麗さ、機体のクリアさに目を奪われました。作者によると、夜撮のためにRF85/1.2を導入したとのことで、執念を感じました。

シャッタースピード 1/200と稼いでいるため背景もさほど流れず、機体もしっかり止まっており、鳥取空港における夜撮のリファレンスとなる一枚だと思います。シャークレットのANAロゴも綺麗に見えるため、ぜひ大きなサイズで見たいと思います。



Canon EOS R5 + RF85mm F1.2 L USM SS1/200, f1.2, ISO12800

深雪晴

金本 祥志さん(鳥取市)

撮影日 2023年1月29日 撮影場所 RWY28エンド

撮影者コメント

こんな素敵な日なら雪掻き頑張っても来なくなる場所。

ANAの青×白がよく似合う冬の鳥取。

選評

T.Fujiba(藤林 敏啓)

この作品ともう一点、同様にRWY28からの雪景色へのランディングの作品があり、どちらにするか紛糾した結果、こちらの作品を選びました。構図に太陽を入れ「晴れ」を強く意識した絵作りに雪かきを終えた後の爽快感を感じ取ることができました。なお、厳しい条件での撮影のため、後から暗部を引き起こしていますが、無理に上げるとアラも目立ってきますので、注意深く現像するようにしましょう。



Sony ILCE-7M3 + FE 16-35mm F2.8 GM SS1/2000, f13.0, ISO100

雨上がりの楽しみ

小野 直美さん(鳥取市)

撮影日 2023年6月2日

撮影場所 賀露地区

撮影者コメント

全国的な大雨の影響で飛行機が遅れた日。

西の空から突然夕日が差し、優しい色の夕焼け空が広がりました。

ある梅雨の日のひと時です。

選評

T.Fujiba(藤林 敏啓)

昨年も賀露の水田地帯での作品を投稿されました。今回は、夕焼けとそれの田んぼへのリフレクションで印象的に仕上げてきました。このシチュエーションなら、RWY28エンドにと思ってしまうところを、しっかりこの場所に止まったご褒美のようなショットですね。撮影条件を見ると、かなりスローシャッターになってしまっているため、手ブレなどで全体的に甘くなっています。ISO感度を上げるなどして適切なシャッタースピードを選ぶようにすると、より良くなると思います。



Canon EOS Kiss X5 + EF-S18-55mm f/3.5-5.6 IS II SS1/60, f5.0, ISO100

朝焼けに染まる大山

中島 寿美子さん(鳥取市)

撮影日 2023年1月11日

撮影場所 RWY28エンド

撮影者コメント

朝陽が登り、ほんの数分の間大山が赤く染まり、とても美しい朝でした。

選評

鳥取空港ビル株式会社 総務部

朝焼けに染まったANA292便と鳥取の霊峰大山。

鳥取空港で勤務する職員でもこれほど素晴らしい大山の姿を見ることは滅多にありません。納得のいく一枚を求めて足しげく空港に通った撮影者の努力が伺えます。

空港ビル賞は飛行機の写っていない作品より選出されますが、今回は応募作品全てに飛行機が入っていたため、その中から特別に選ばせて頂きました。



Fujifilm X-S10 + XF100-400mmF4.5-5.6 R LM OIS WR SS1/80, f8.0, ISO1600

夕暮れの着陸

河村 博之さん(鳥取市)

撮影日 2022年9月21日 撮影場所 RWY10エンド

撮影者コメント

夕暮れの着陸シーン全体が入るように撮影しました。

選評

鳥取空港空の駅オヤジの会

夕陽の中を滑走路に向けて飛行機が着陸しようとしています。

空の雲と夕陽、日本海、機体、誘導路のバランスの構図がとても素晴らしく、ひと目観て美しさを感じます。



Canon EOS R6 + EF100-400mm f/4.5-5.6L IS USM SS1/800, f8.0, ISO640

総評

プリントによる応募での本コンテストも3回目となり、定番となりつつあると実感しております。応募は昨年とほぼ同規模で30名、54点の応募となりました。本年の応募は20代から90代とこれまで同様幅広い年代、また、県外からの応募もありました。ただ、コロナ禍による移動制限がなくなりましたが、県外からの応募は近県のみで、遠方からの応募はありませんでした。

今回応募いただいた作品に目を通して、昨年よりもさらに応募者の方が研究してきていると実感しました。「鳥取らしさ」「鳥取空港らしさ」を狙うべくロケハンをされたもの、昨年と同じロケーションでもよりよいシチュエーションを狙ったものが目につきました。継続することで、応募者のみなさんのレベルアップが感じられて運営する側としても大変嬉しく思います。撮影場所では、RWY28, RWY10両エンドで6割を占める一方、消防ゲートでの作品応募はありませんでした。これは今年の4~5月にあまり条件が良くなかったことに起因しているかと考えます。空港を離れたところでは、白兎海岸、久松山と言ったところの作品が目立ってきました。これまでのボーイング737に加え、エアバスA320, A321もRNP28アプローチを行えるようになったことで、RWY28アプローチの作品も多く見られるようになり、結果的に最優秀、優秀賞共にRWY28アプローチの作品が選出されることになりました。RWY10アプローチの場合、撮影ポイントがある程度固定化され、目新しさがなくなってきた印象もありますが、まだまだ新しい絵が出てきていることも事実かと考えます。

次に撮影年月を見ていきますと、積雪を記録した今年1月を除くと、今年の4月以降の作品が大半を占めていました。フォトコン開催の告知前後以降の撮り下ろし作品での応募となります。ぜひ、日常的に撮り溜めて、たまに見返しながら次回の応募作品候補を温めて行って欲しいと思います。

一方、プリント出力に十分な注意が払われていないものもいくつか目立ちました。おそらく、画像サイズが小さいままプリントして画質が低いままのものや、彩度・明瞭度を上げすぎているものといったものがありました。また、提出にあたって折り曲がらないようにする手当のされていないものもありました。良い作品を最後までしっかり確認して提出されることを願っています。

全応募作品は一定期間展示しギャラリーを訪れた皆様での投票で「ギャラリー賞」を決定します。ぜひ、応募作品に目を通してもらって刺激を受けてもらいたいと思います。そして、次回以降、どんな発想でどんな絵が見られるかとても楽しみです。

現在のスタイルで応募いただくようになり、撮影機材の情報も提供していただいております。その情報を見ていると、3年前は半数以上を占めていた一眼レフからミラーレスへの移行が進んでいるようで、一眼レフは3割を切り、ミラーレス、特にフルサイズミラーレスだけで3割を超えてきました。ミラーレスになることで、これまで撮れなかったようなシチュエーションも撮れるようになりますと言いますので、これからの作品が楽しみになります。

受賞者のみならず力作ぞろいの作品をご応募いただきましたこと空港職員一同心より感謝致しますとともに、鳥取砂丘コナン空港の魅力を皆様の力を得て発信するためにも、次回も皆様からの応募を楽しみにしています。

2023年9月30日 鳥取空港ビル株式会社